

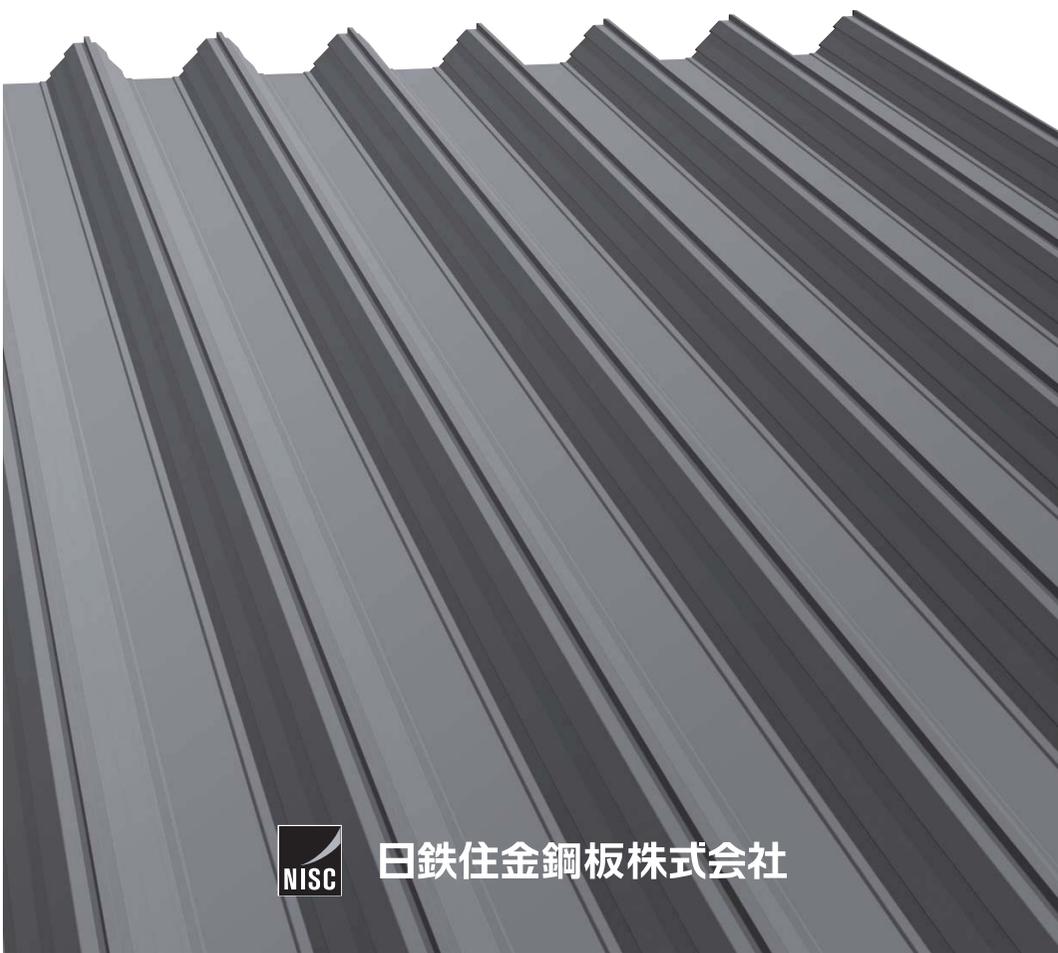


Ver. 4

高強度折板

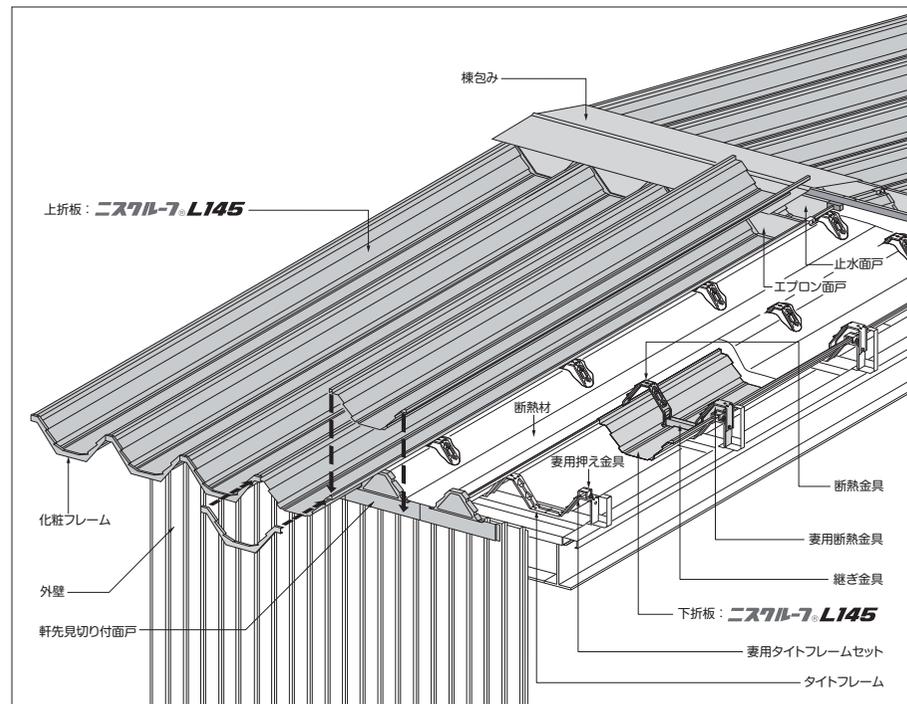
ニスウル-7® L145

高断熱二重折板工法 施工マニュアル



日鉄住金鋼板株式会社

1 構成図

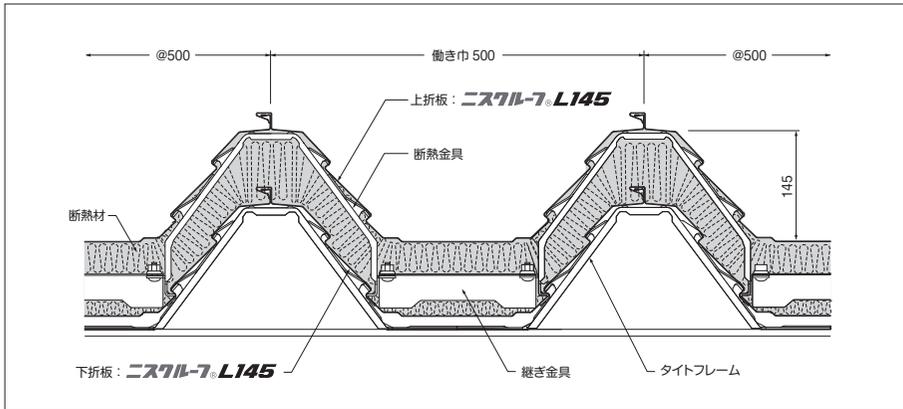


CONTENTS

- ① 構成図 ①
- ② 断面形状図 ②
- ③ 仕様 ②
- ④ 純正部材 ②
- ⑤ 標準施工方法 ③
- ⑥ 参考納まり図 ⑨

2 断面形状図

単位：mm



3 仕様

使用原板厚	上折板：0.8mm / 下折板：0.6mm～0.8mm
使用原板幅	762mm
働き幅	500mm
m ² 当り必要m数	2.0m
屋根勾配	3/100以上 ※屋根勾配 10/100以上についてはお問い合わせください。
断熱材	グラスウール 10kg/m ³ 100mm
裏打ち材	裏打ち材無し、グラス繊維系 t=5mm、 無機質高充填フォームプラスチック t=4mm

※屋根伏形状が台形などで斜め切断が含まれる場合は、ご相談ください。

屋根 30分耐火認定

■ 認定番号：FPO30RF-1896(1)～(4)

- 上折板 / 0.8mm以上
 - 下折板 / 0.6mm以上
 - 母屋間隔 / 5.6m以下
 - 断熱材 / グラスウール 10kg/m³ 100mm
- ※裏打ち材の組合せで枝番が変わります。

■ 断熱性

- 熱貫流率 0.64W/m²K
(グラスウール 10kg/m³ 100mm)

4 純正部品

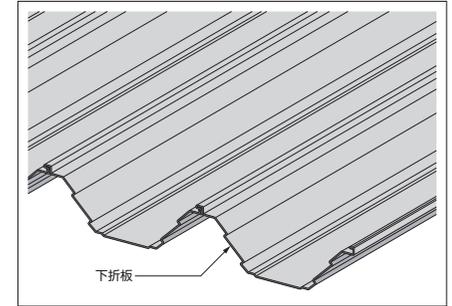
断熱金具セット / DL-60				
断熱金具 DL-20 材質：溶融亜鉛めっき鋼板 285 229 t=2.6mm	継ぎ金具： 溶融亜鉛めっき鋼板 DL-21 210 45 t=1.6mm	独立断熱金具セット DL-93	断熱金具特殊端部 スターターセット DL-95	ナット M 10×2 個
妻用断熱金具セット / DL-65				
妻用断熱金具 DL-25 材質：溶融亜鉛めっき鋼板 158 t=2.6mm	継ぎ金具： 溶融亜鉛めっき鋼板 DL-21 210 45 t=1.6mm	妻用押さえ金具： 溶融亜鉛めっき鋼板 DL-30 52 50 83 t=1.6mm	ボルト・ナット M 10×3 個 M 10×2 本 ℓ=20mm	

5 標準施工方法

■ 下折板の施工

- ① 下折板を取り付けてください。

※施工方法については、弊社「ニスクルーフ L145 施工マニュアル」をご参照ください。



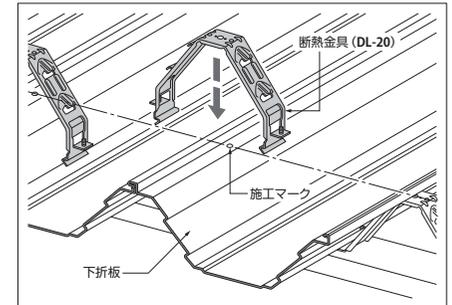
■ 断熱金具の取り付け

一般部

- ① 断熱金具を下折板本体斜面の下段にセットしてください。

⚠ 注意

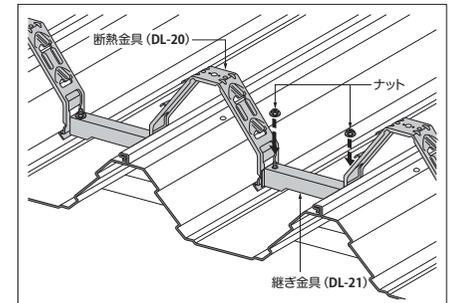
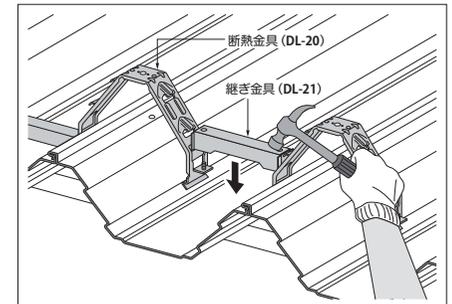
断熱金具は、必ず下折板タイトフレーム上に取付けてください。下折板の施工マーク（凸マーク）が目印です。また隣同士の金具の通りを合わせてください。



- ② 継ぎ金具を断熱金具の間にセットし、ナットを締め固定してください。

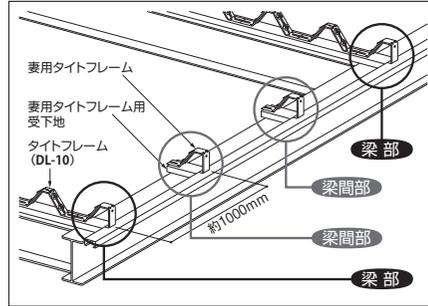
⚠ 注意

継ぎ金具は、左右均等に金づち等で叩きながら落とし込んでください。片側のみを落とし込みますと、セットできなくなる恐れがあります。



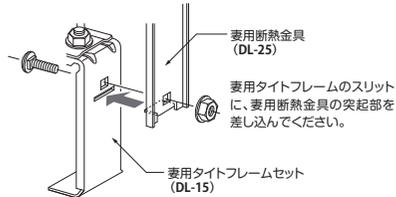
けらば部

梁部と梁間部では、妻用断熱金具の固定方法が異なりますので、各々の固定方法の説明部分をご参照ください。



梁部

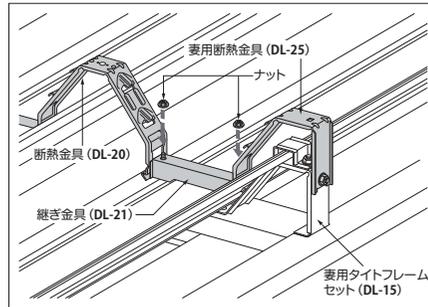
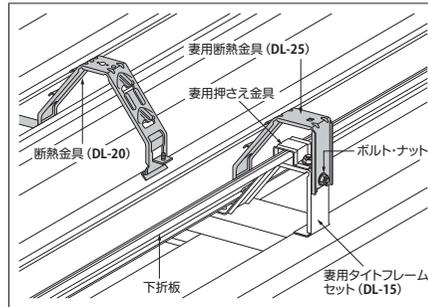
① 妻用断熱金具の片側を下折板 斜面の下段にセットし、片側を下折板妻用タイトフレームにボルト、ナットにて固定してください。



② 継ぎ金具を断熱金具と妻用断熱金具との間にセットし、ナットを締め固定してください。

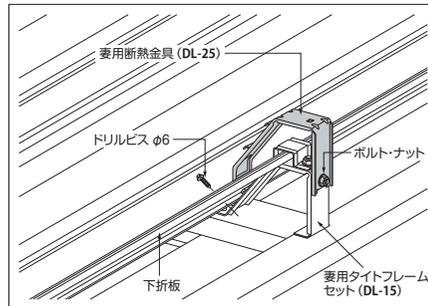
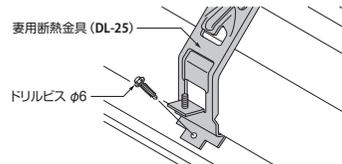
注意

継ぎ金具は、左右均等に金づち等で叩きながら落とし込んでください。片側のみを落とし込みますと、セットできなくなる恐れがあります。



梁間部

① 妻用断熱金具の片側を下折板タイトフレームの下段部にドリルビス (φ6) にて固定してください。片側は下折板妻用タイトフレームにボルト、ナットにて固定してください。



断熱材の敷き込み

【50mm 2層の場合】

- ① グラスウール (10kg/m³, t=50mm) を2重に下折板上に敷き込んでください。
- ② 上下グラスウールジョイント部は、重ならないようにずらして敷き込んでください。

【100mm 1層の場合】

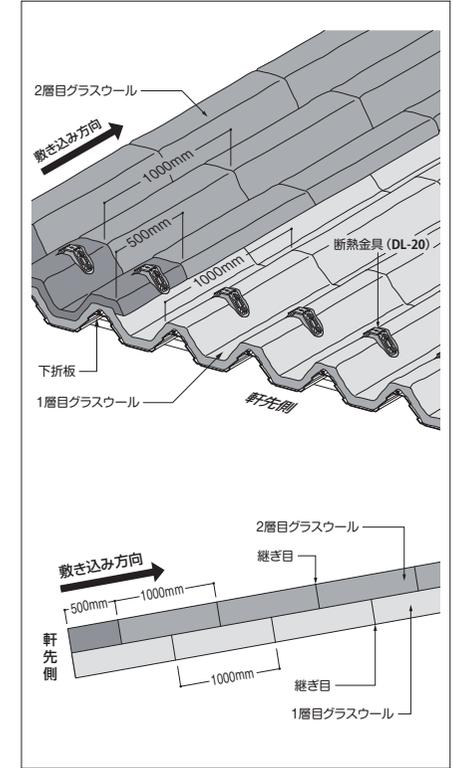
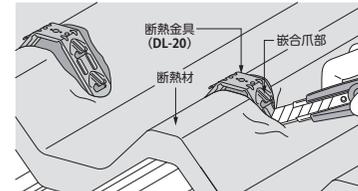
- ① グラスウールは折板と直角に水下側より敷詰め、隙間が無いようにします。

注意

グラスウールの敷き込み作業中は、ビニールシートなどを留意して、不意の降雨などで濡らさないように注意してください。

注意

上折板を嵌めさせるため、断熱金具部分については、グラスウールにカッターナイフなどで切れ目を入れ、必ず嵌合爪部を完全に露出させてください。



※図は、50mm 2層で表現しています。

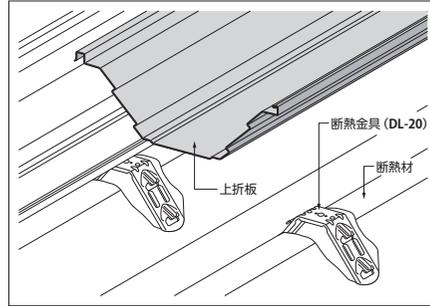
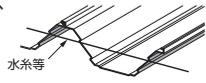
■ 上折板の取り付け

● 本体の仮置き

- ① 断熱金具の取付けミスがないかを確認した後、割付けに合わせ、必ず軒先を合わせてから本体を仮置きします。

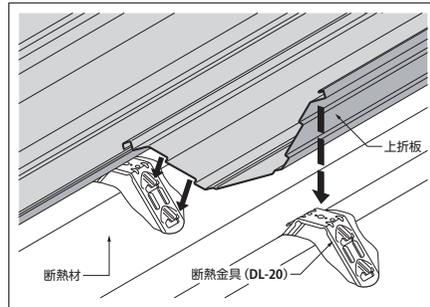
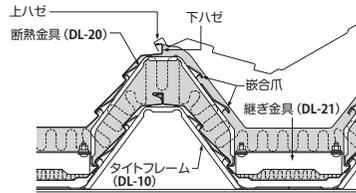
⚠ 注意

必ず軒先を合わせてから、本体を仮置き 及び 嵌合してください。

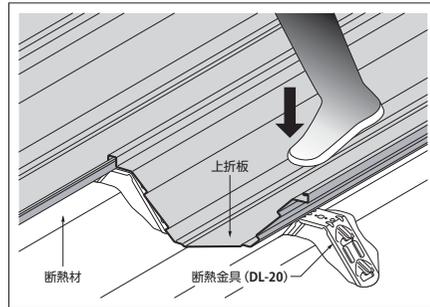
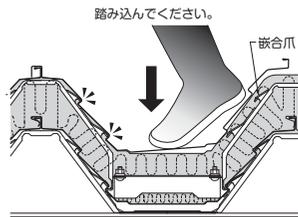


● 本体の嵌合

- ① 下ハゼに上ハゼを引っ掛けながら本体を落とし込みます。



- ② 本体に踏み込み、嵌合させます。



⚠ 注意

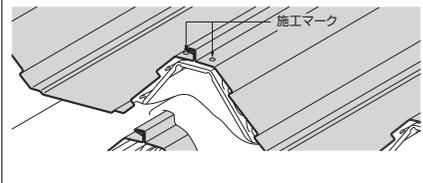
屋根材の飛散防止
途中で工事を中断する場合、屋根材の飛散防止の処置を行ってください。

例) 妻用押さえ金具で屋根材を仮固定します。



検査 (嵌合の確認)

本体が嵌合している場合、断熱金具上面の凸部によって本体へ施工マークが出ます。本体が嵌合していない場合、施工マークはでません。

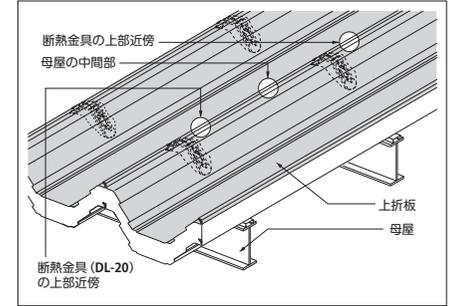


● ハゼ締め

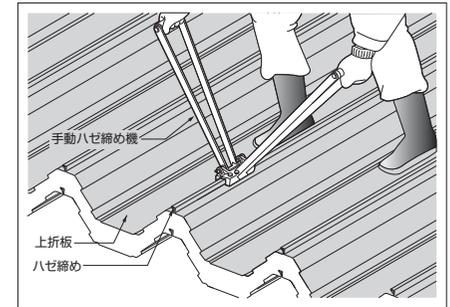
- ① 手動ハゼ締め機で断熱金具の上部近傍、母屋の中間部を手締めし、仮止めます。

⚠ 注意

断熱金具の真上では施工マークがキズ付くことがあるため避けてください。



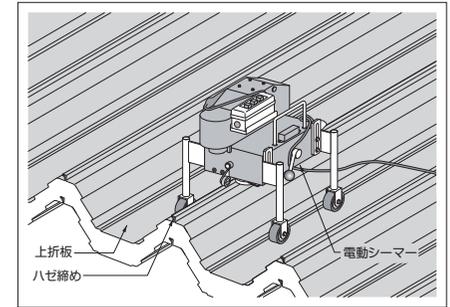
- ② 軒先部 や 棟部は、電動シーマーが使えないため、手動ハゼ締め機で手締めします。



- ③ さらに、手動ハゼ締め機で手締めした箇所以外の部分を電動シーマーでハゼ締めをし、仕上げます。

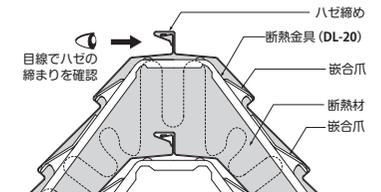
⚠ 注意

電動シーマーの動きに注意して、人は内側にいるようにしてください。また 軒先まで電動シーマーをかけないでください。シーマーの落下、及び人の転落につながる恐れがあります。軒先及び棟部は 原則として、手動ハゼ締め機による手締めで、ハゼ締めを行ってください。



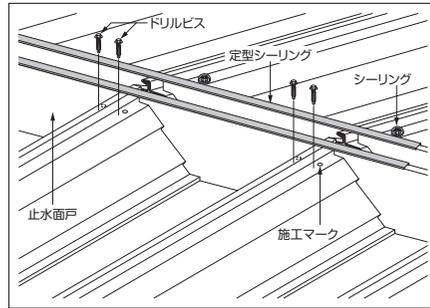
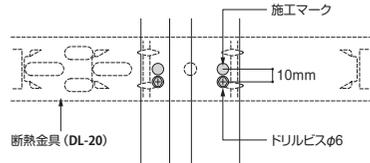
検査

ハゼ部を横から見て、全体にハゼ締めがされているかどうか確認してください。



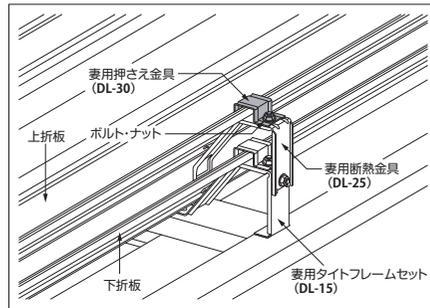
■ 水上部の固定

- ① 屋根本体のずれ防止のため、棟部において 本体を断熱金具に、下図位置にてドリルビス (φ6) で止め、ビス頭をシーリングしてください。



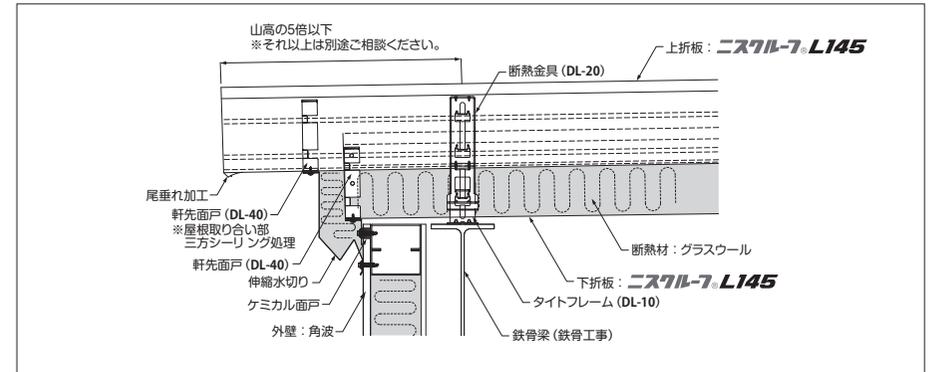
■ けらば部の固定

- ① 妻用断熱金具上部に妻用押さえ金具をボルト、ナットで固定し、本体を押さえてください。

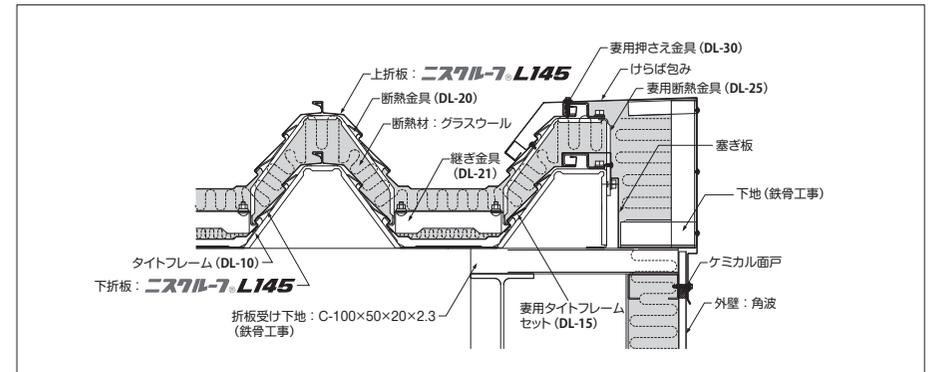


6 参考納まり図

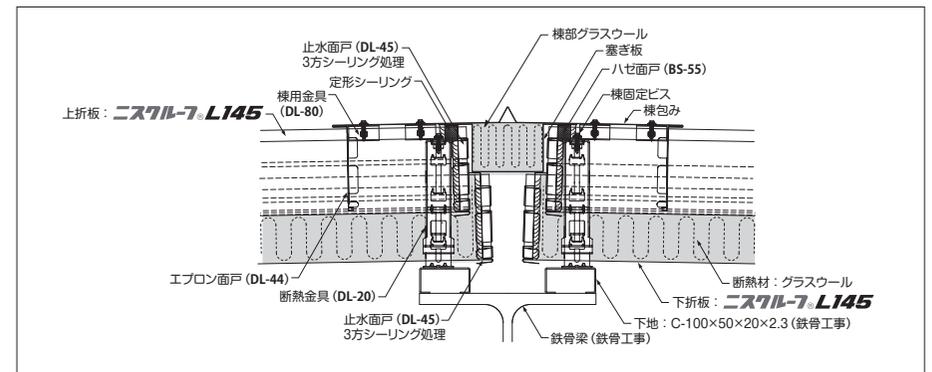
● 軒先部



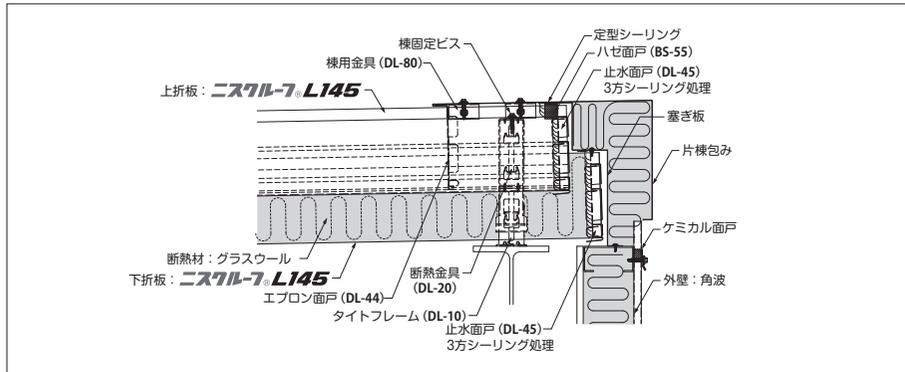
● けらば部



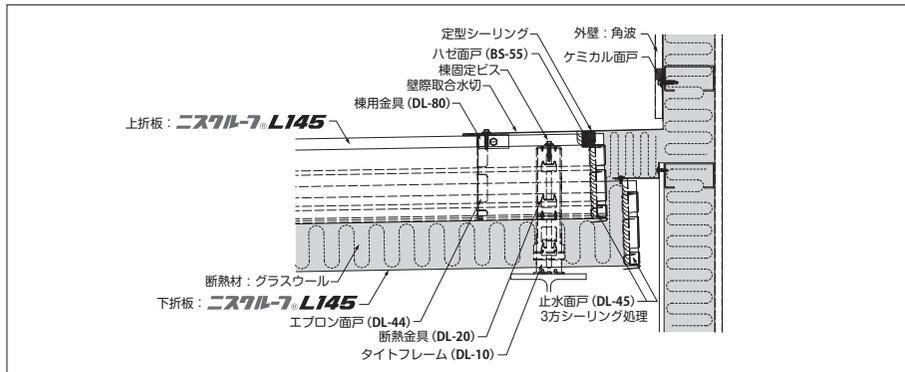
● 棟部



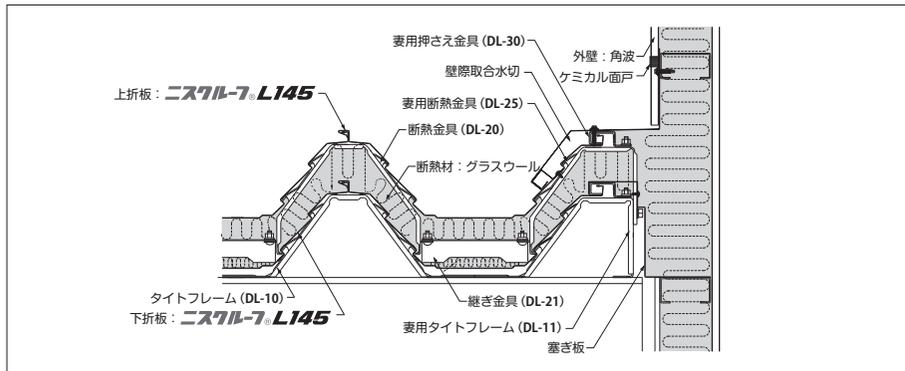
● 片棟部



● 外壁取り合い部 (水上)



● 外壁取り合い部 (妻部)



■ 新日鐵住金グループ



日鉄住金鋼板株式会社

本社・鋼板営業第一部 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-5-6 第10中央ビル TEL 03-6848-3710(代) FAX 03-6848-3757
 本社・パネル建材営業部 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-5-6 第10中央ビル TEL 03-6848-3820(代) FAX 03-6848-3838
 東北支店 〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町3-6-1 一番町平和ビル10F TEL 022-264-9861(代) FAX 022-264-9866
 名古屋支店 〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南2-13-18 NSビル TEL 052-564-7258(代) FAX 052-564-4759
 大阪支店 〒541-0042 大阪府大阪市中央区今橋4-1-1 淀屋橋三井ビルディング TEL 06-6228-8330(代) FAX 06-6228-8506
 九州支店 〒812-0025 福岡県福岡市博多区店屋町5-18 博多NSビル TEL 092-281-0051(代) FAX 092-281-0230
 北陸営業所 〒930-0004 富山県富山市桜橋通1-18 北日本桜橋ビル TEL 076-432-9898(代) FAX 076-442-2924
 ホームページアドレス <http://www.nisc-s.co.jp>

● お問い合わせは・・・

● 内容は予告なく変更する場合がありますのでご了承下さい。

※記載された試験データは弊社で実施した試験データの一例であり、その結果を保証するものではありません。
 ※当技術資料に掲載されている仕様等は、予告なく変更することがあります。
 ※本資料に記載された製品または役務の名称は、当社の商標または登録商標です。
 ※本資料に記載された内容の無断転載や複製はご遠慮ください。